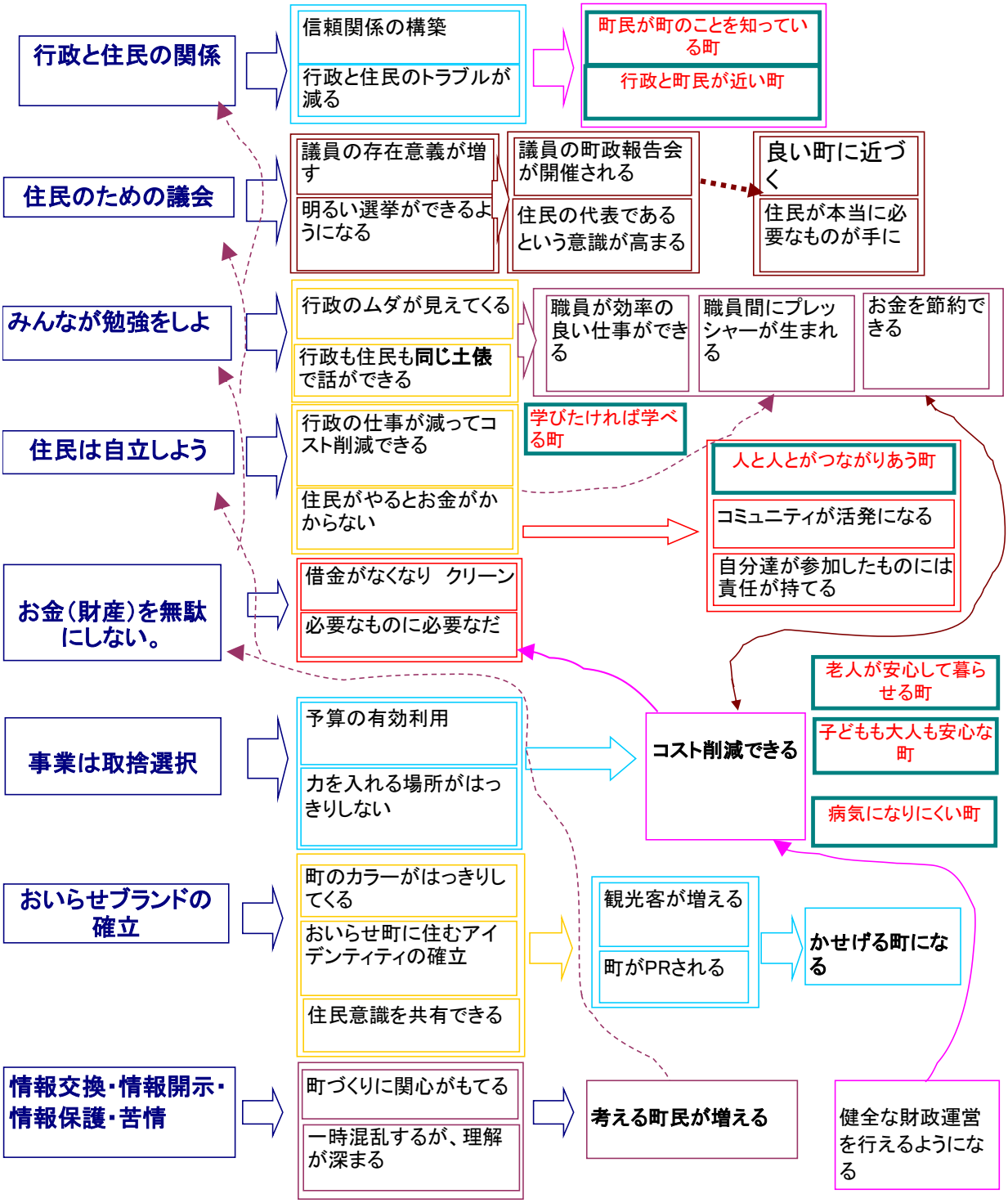
＜組織論からスタート＞


行政と住民の関係
信頼関係の構築
行政と住民のトラブルが減る
町民が町のことを知っている町
行政と町民が近い町
住民のための議会
議員の存在意義が増す
明るい選挙ができるようになる
議員の町政報告会が開催される
住民の代表であるという意識が高まる
良い町に近づく
住民が本当に必要なものが手に
みんなが勉強をしよ
行政のムダが見えてくる
行政も住民も同じ土俵で話ができる
職員が効率の良い仕事ができる
職員間にプレッシャーが生まれる
お金を節約できる
住民は自立しよう
行政の仕事が減ってコスト削減できる
住民がやるとお金がかからない
学びたければ学べる町
人と人とがつながりあう町
コミュニティが活発になる
自分達が参加したものには責任が持てる
お金（財産）を無駄にしない。
借金がなくなり　クリーン
必要なものに必要なだ
老人が安心して暮らせる町
子どもも大人も安心な町
病気になりにくい町
事業は取捨選択
予算の有効利用
力を入れる場所がはっきりしない
コスト削減できる
おいらせブランドの確立
町のカラーがはっきりしてくる
おいらせ町に住むアイデンティティの確立
住民意識を共有できる
観光客が増える
町がPRされる
かせげる町になる
情報交換・情報開示・情報保護・苦情
町づくりに関心がもてる
一時混乱するが、理解が深まる
考える町民が増える
健全な財政運営を行えるようになる